

2011 年度 12 月度
世界遺産検定 マイスター試験
講評 および 学習方法

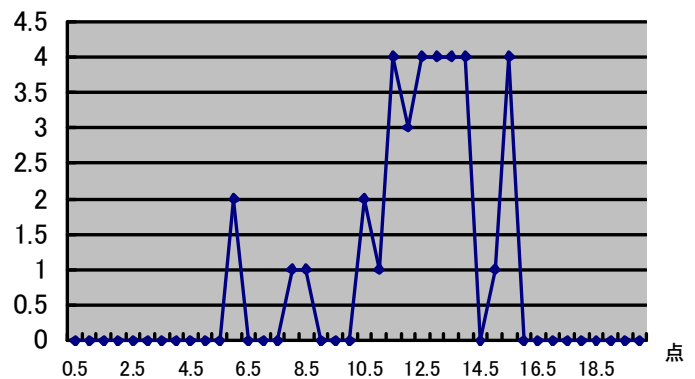
- | | | |
|---------|--------------|----------------|
| 1. 実施概要 | 2. 認定点と分布 | 3. 問題 |
| 4. 総評 | 5. 各問の短評と学習法 | 6. 認定者からのアドバイス |

1. 実施概要

検 定 日：2011 年 12 月 11 日（日）
検 定 会 場：東京・大阪
検 定 時 間：12:45-14:45（解答時間 120 分）
解 答 形 式：論述形式（記述）
申 込 人 数：40 名
受 検 人 数：35 名
認 定 者 数：22 名（認定率 63%）

2. 認定点と分布

認 定 点：12 点（20 点満点）
最 高 点：15.5 点
最 低 点：6 点
分 布：



3. 問 題

- 1 次の語句を簡潔に説明しなさい。
1. 国連人間環境会議
 2. 世界遺産の登録基準
 3. 文化的景観

- 2 世界遺産条約について、次の語句を全て使って、400 字以内で説明しなさい。なお、解答中の次の語句の使用箇所には下線を引きなさい。
- ユネスコ 世界遺産リスト 危機遺産リスト 世界遺産基金

- 3 シリアル・ノミネーション/トランスバウンダリー・サイトの保護活動について、「プレア・ビヒア寺院」の事例を引用し、他の遺産の実例と比較しながら 1,200 字以内で論じなさい。

4. 総 評

今回のマイスター受検をされた人も、要点や自分の意見をまとめる練習をよくされていたように感じた。ただ基本的な内容で誤解をしている方も散見された。用語の説明は厳密さも求められるため、正確な知識を得ることが重要である。例年と異なり、世界遺産の基本知識を問う 1 で点数を落とす人も多かった。2 は比較的よく解けていたが、3 では例年のように遺産の解説に終始している解答が多く見受けられた。全体としては、世界遺産を通した各自の意見がもう少し書かれているとよかったと感じた。

5. 各問の短評と学習法

1

短評：それぞれの語句を約 50 文字以内で説明する問題。微妙に正しくない解答の人が多くいた。短い中で正しく要点を押えた要約をする事前練習が必要である。

学習法：このように少ない文字数で要約する場合、ポイントとなる語をはずさないようにしなければならない。また短い故により正確な内容が求められ、「登録基準は文化遺産 (i) ~ (vi) と自然遺産 (vii) ~ (x) に分かれている」という書き方は正確ではない。学習の際には、**それぞれの語句のポイントがどこであるかを考えながら、キーワードを正しくつかむのが重要**である。

2

短評：指定語句を用いて重要なキーワードを説明する問題。例年に比べても比較的よく出来ていたが、「世界遺産条約」の条項などの説明に終始し、条約の目的や意義などにまで触れている人は少なかった。

学習法：書く前に必ず**全体のプロットを作る**必要がある。「世界遺産条約」を説明するのに必要なキーワードを書き出し、それを組み替えながら全体のプロットを考える。

学習の段階では、重要語句のキーワードやポイントを抜き出しておくとうい。また「世界遺産条約」の意義や目的、採択の背景なども理解し、それを限られた文字数と指定語句の中に加えられるよう、自分なりのまとめなおしが必要である。そのためは、**文章ではなく語句で覚えておき**、問題に合わせて語句を組み合わせるようになるのが重要である。

文字数指定のある場合は、最低でもその 8 割を書かないと減点の対象となる。

3

短評：論理的に世界遺産に関する自分の考えを論述する問題。遺産の説明に終始している人や、裏付けのないような情報を書いている人、語句を誤解している人などが見受けられた。また段落別けや改行を用いずに書いている人も多く、文章的にメリハリのない人も多かった。例年と同様、自分の意見を述べている人や考察を加えている人とそうでない人の間に点数に差が出た。

学習法：1,200 字というかなり長い論述問題の場合は、書き始める前に必ず**全体のプロットを作る**必要がある。その時に、**序論・本論・結論のスタイル**にするのか、まず**結論を書いてから後で説明するスタイル**にするのか決め、それに沿うようにキーワードなどの箇条書きでプロットを作る。それに肉付けする形で、書き上げてゆく。

このような論述問題の場合、「**正解**」というものはない。いかに自分の意見を論理的に述べられるかが高得点の鍵となる。当然、**自分の考えを述べる時には、思い込みではない正確な情報で根拠を示す**必要がある。

3では「**世界遺産の理念**」と**関係する問題が出題される**ので、今回の問題でもなぜシリアル・ノミネーションやトランスバウンダリー・サイトという概念が採用されているのか、そこにはどのようなよい点と悪い点があるのかを記述する必要がある。「プレア・ビヒア寺院」関連は新聞でもよく取り上げられた内容であり、書きやすく感じた人が多かった反面、内容に大きな差が出た。新聞などで得た情報を、自分なりに考えなおすことが必要である。

文字数指定があるので、最低でもその 8 割は必ず書くようにする。

6. 認定者からのアドバイス

(世界遺産アカデミー会報誌『WHA-MR』より抜粋)

藤村 旬 (三重県 世界遺産検定マイスター)

「マイスターを受検してみよう」と決断したのは、9月に入ってからでした。(試験は11月29日でした) 私がやったのは、世界遺産検定事務局から「マイスター試験のお知らせ」とともに送られてきた「過去問」に沿って予想問題を作り、答案を書いてみることでした。

1. (基本用語) は21の語を選び出し、答案を作りました。

2. (ユネスコの「世界遺産」理念) については、8つほどのテーマを見つけて、ウェブ・マップ(キーワード等を線で結んだ図)を作ってみました。また、インターネットで「世界遺産条約」を調べ、読んでみました。

3. (世界遺産の保護・保全について、解答者の意見を問う問題) については、ある本を二度読み、それをもとにして、「世界遺産の保護・保全について」というテーマで、1200字で書いてみました。

ある本というのは、元ユネスコ事務局長・松浦晃一郎氏著の「世界遺産～ユネスコ事務局長は訴える」です。この本は「世界遺産の保護・保全」及び「ユネスコの理念」について、多くの知見を与えてくれました。

さて、結果なのですが、基本用語一つが予想問題から外れていた他は、すべて予想問題に入っていました。

マイスターを受検してよかったことは、勉強を通して「人類の源は一つ」と掴めたと思えることです。今後、それを根本に置き、マイスターの活動ができればと考えています。

千葉 深春 (北海道 世界遺産検定マイスター)

偶然見た吊革広告で興味を持ち、2008年夏2級検定から私の世界遺産勉強が始まりました。

マイスター試験では、世界遺産に対してしっかり自分の考えを持っているかが問われます。2時間は焦るとあっという間です。前年の問題を参考に例題を作り、時間内に制限字数で自分の考えをまとめる練習を続けました。マイスターを目指す方は、記述に慣れましょう。1200字や400字で自分の意見をまとめ解答用紙に書くのは、案外時間がかかります。せっかく良い意見でも、解答用紙に時間内に記述できなくては勿体ないです。

世界遺産のニュースや書籍を通して常に問題意識を持つことも大切です。テキストの基礎知識部分も用語問題で役立ちます。準備の結果、当日は緊張しましたが、なんとか自分の考えをまとめ記述できました。

マイスター試験は地方にはなく、当初は受検するか迷いましたが、改めて世界遺産の本来の意義を真剣に考える機会になり、今は東京まで受検しに行き本当に良かったと思っています。

2011 年度 7 月度
世界遺産検定 マイスター試験
講評 および 学習方法

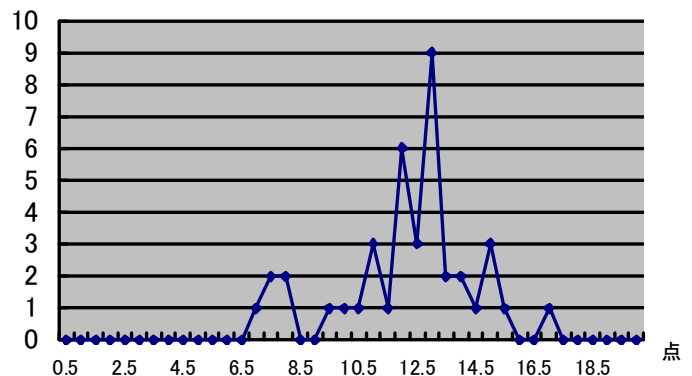
1. 実施概要 2. 認定点と分布 3. 問題 4. 総評

1. 実施概要

検 定 日：2011 年 7 月 3 日（日）
検定会場：東京・大阪
検定時間：12:45-14:45（解答時間 120 分）
解答形式：論述形式（記述）
申込人数：40 名
受検人数：40 名
認定者数：28 名（認定率 70%）

2. 認定点と分布

認定点：12 点（20 点満点）
最高点：17 点
最低点：7 点
分 布：



3. 問 題

- 1 次 の 語 句 を 簡 潔 に 説 明 し な さ い。
 1. 人間と生物圏（MAB）計画
 2. 武力紛争の際の文化財保護に関する条約（ハーグ条約）
 3. トランス・バウンダリー・サイト
- 2 世界遺産条約について、次の語句を全て使って、400 字以内で説明しなさい。なお、解答中の次の語句の使用箇所には下線を引きなさい。
ユネスコ 世界遺産委員会 自然 平和
- 3 世界遺産と観光について、「小笠原諸島」の事例を用いて、他の世界遺産と比較しながら 1,200 字以内で論じなさい。

4. 総 評

今回のマイスター受検をされた人も、要点や自分の意見をまとめる練習をよくされていたように感じた。マイスター試験を受検される人は十分に知識のある方が多く、要点や意見をまとめる勉強さえ出来ていれば、レベルの高い解答をすることが出来る。例年と同様、世界遺産の基本知識を問う 1 を解けている人が多かった反面、2 で表面的な説明になってしまっていたり、3 で遺産の解説に終始している解答などを多く見受けられた。全体としては、世界遺産を通した各自の意見がもう少し書かれているとよかったと感じた。また文字量が規定の 8 割未満もしくは文字数オーバーで減点となる人も、今回はほとんどいなかった。